

事前評価個表

事業名	重要自然維持地域保安林整備	事業計画期間	平成21年度～平成25年度（5年間）
事業実施地区名 （県名）	白髪山（しらがやま） （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 嶺北森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は脆弱で崩壊しやすい三波川結晶片岩地帯に位置している。平成16、18年の台風豪雨等により、口白髪山国有林22林班の白髪山林木遺伝資源保存林において地すべり性崩壊、溪流荒廃が発生し、崩壊土砂が下流域に流出した。</p> <p>現在も渓床内には多量の不安定土砂が堆積しており、今後の降雨によって荒廃が拡大し下流域に被害を及ぼす恐れが高いことから、林地崩壊、渓岸浸食の拡大防止を図り、併せて渓床内の不安定土砂流出を防止するため、溪間工、山腹工等を実施する。</p> <p>また、遺伝資源保存林周辺の人工林においては林分が過密となって下層植生が衰退し林地荒廃の恐れがあることから、下層植生を回復し水源かん養機能を高めるため、森林整備等を実施する。</p> <p>・主な事業内容：溪間工 8基、山腹工 0.20ha、作業道 400m、本数調整伐 82ha、除伐 44ha、歩道 1,300m</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	300,030千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	262,522千円
		環境保全便益	921千円
		災害防止便益	489,584千円
		計	753,027千円
	分析結果(B/C)	2.51	
評価結果	<p>必要性： 山腹崩壊地、渓床に堆積している不安定土砂及び林地荒廃を放置すれば荒廃地の拡大が懸念され、下流域の民家や農地等に被害が及ぶ恐れがあることから、本事業を実施するものである。</p> <p>有効性： 本事業により崩壊地の復旧や渓床に堆積している土砂の安定化や下層植生の回復が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから、本事業の有効性が認められる。</p> <p>効率性： 費用対効果の分析から本事業の効率性が認められる。</p>		

整理番号 1

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：重要自然維持地域保安林整備

都道府県名：高知県

施工箇所：白髪山

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	130,490	
	流域貯水便益	56,488	
	水質浄化便益	75,544	
環境保全便益	炭素固定便益	921	
災害防止便益	山地災害防止便益	489,584	
便 益 合 計 (B)		753,027	
事 業 費 合 計 (C)		300,030	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{753,027}{300,030} = 2.51$		